

背景

グローバル化社会において、日本と他国との相互依存関係は深化し、直面する課題は複雑化しています。このような時代に、世界の現状を理解し、異なる価値観・環境に適応し、多様性を生かして新しい解を創り出す力を持ったグローバル人材の育成が世界中で求められています。文部科学省国立教育政策研究所(NIER)と(独)国際協力機構(JICA)地球ひろばは、他国の教育行政機関がグローバル化の進展に対していかなる対応を行っているか、その動向について比較分析を行い、将来の我が国の教育課程のありかたについて示唆を得ることを目的とした共同プロジェクトを2011年12月に開始しました。これまでに公教育と国際教育(国際理解教育/開発教育)の融合を切り口に、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス、ドイツ、アメリカ、カナダについて比較調査を行いました。そして、最終年度の今夏、さらなる海外からの知見も加えて、政府、地方、学校現場、NGO等が一体となってグローバル人材育成を可能にする教育を考える本国際シンポジウムを開催します。

日時、会場

2013年8月30日(金) 13:30-17:30

(受付開始 13:00)

文部科学省 東館 3階 第一講堂

(専用入口をご利用ください)

主催

文部科学省国立教育政策研究所, JICA 地球ひろば

参加無料(定員 250名)

<申込方法> URL: <http://www.idcj.or.jp/>

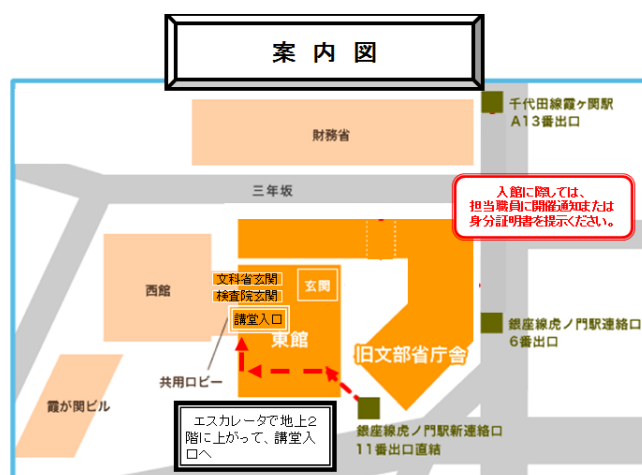
(上記 URL にアクセスの上、申込書に記載し、メールでお申し込みください。)

<申込締切> 2013年8月23日(金)

(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

<問い合わせ先>

(株)国際開発センター: 安室 電話: 03-6718-5932 (電話での申込はできません)



プログラム

I. 開会挨拶

- 尾崎春樹(文部科学省 国立教育政策研究所 所長)

II. 基調講演

- 勝野頼彦(文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター長)
「日本の教育課程の現状と本シンポジウムへの期待」
- 芳賀克彦((独)国際協力機構 地球ひろば 所長)
「日本の国際教育の現状と本シンポジウムへの期待」

III. パネル・ディスカッション

パネル 1: グローバル化時代を生きる資質・能力を育成するための教育課程

- ・ コーディネーター:
 - 二宮皓(比治山大学・比治山大学短期大学部 学長)
- ・ コメンテーター:
 - 松尾知明(文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官)
- ・ パネリスト:
 - Tim Oates (Group Director, Cambridge Assessment / Chair of the National Curriculum Review Expert Panel) (イギリス)
「国際的グローバル人材: コンピテンス、態度、資質、そして『Powerful Knowledge』に関する視点ーカリキュラム開発と統制の原則」
 - Barry McGaw (Chair, Australian Curriculum, Assessment and Reporting Authority (ACARA))(オーストラリア)
「汎用的能力(*general capabilities*)を基にしたカリキュラムの構想の現状と課題について、また汎用的能力をどのように評価するのか」(仮)
 - Lindsey Conner (Associate Professor, Deputy Pro Vice Chancellor, College of Education, University of Canterbury)(ニュージーランド)
「ニュージーランドカリキュラムの実践: そのビジョンと実際」
- ・ ディスカッション、質疑応答

パネル 2: グローバル化時代における国際教育の意義と学校現場での国際教育の推進

- ・ コーディネーター:
 - 多田孝志(目白大学人間学部長・教授)
- ・ コメンテーター:
 - 山西優二(早稲田大学 文学学術院 教授)
- ・ パネリスト:
 - Frances Hunt (Research Officer, Department Education Research Centre (DERC), Institute of Education, University of London) (イギリス)
「イングランド(イギリス)の学校におけるグローバル教育: 政策、実践、インパクトについて」
 - Arthur Burch (Former Manager, Global Education Program, The Australian Agency for International Development (AusAID)) (オーストラリア)
「オーストラリアにおけるグローバルシティズンシップの育成」
 - (未定)(Partnerships with Canadian Branch, Canadian International Development Agency (CIDA) (カナダ)
「新たな開発教育援助機関の役割と学校現場における開発教育促進のための方策」(仮)
- ・ ディスカッション、質疑応答

IV. 全体討論パネル 1、およびパネル 2

V. まとめ

VI. 閉会挨拶

- 黒川 恒男((独)国際協力機構 理事)